様式第２号の１－①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	名桜大学
設置者名	公立大学法人名桜大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
国際学部	国際文化学科	—	35	6	18	59	13	
	国際観光産業学科	—			40	81	13	
人間健康学部	スポーツ健康学科	—		0	45	80	13	
	看護学科	—			54	89	13	
	健康情報学科	—			23	58	13	

（備考）
・令和８年度前学期科目のみを計上している。
・教育職員免許状取得に係る「教職に関する科目」は、計上していない

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

○実務経験のある教員等による授業科目の一覧表は、大学 HP⇒在学生の方へ⇒学内者専用サイト⇒「教務・履修登録に関すること」のページに掲載している。
https://www.meio-u.ac.jp/html/risyu

○シラバスの内容は、大学ＨＰ⇒在学生の方へ⇒UNIVERSAL PASSPORT RX
⇒シラバスリンクで閲覧することができる。
https://mup.meio-u.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名　該当なし
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	名桜大学
設置者名	公立大学法人名桜大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表：大学 HP→大学紹介→組織→役職員
https://www.meio-u.ac.jp/about/organization/position/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	名護市 副市長	令和 6 年 11 月 1 日～令和 8 年 10 月 31 日	組織運営体制へのチェック
非常勤	株式会社ゆがふホールディングス 代表取締役社長	令和6年7月1日～令和8年6月30日	組織運営体制へのチェック
（備考） 令和 8 年 5 月 1 日現在			

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名桜大学
設置者名	公立大学法人名桜大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

本学では、「シラバス作成のためのガイドライン」に沿って、学期ごとに全科目の授業計画（シラバス）を作成し、公表している。

授業計画（シラバス）には、「科目名（日本語)、科目名（英語)、単位数、開講予定学期、登録予定人数、担当教員名及びメールアドレス、教員研究室、オフィスアワー、授業の概要、到達目標、ディプロマポリシーとの関連性、授業の計画と内容、テキスト・参考文献、準備学習、名桜大学成績評価基準に沿った成績評価の方法、履修の条件」を記載している。

また、授業計画（シラバス）は、学生の履修登録に支障のないよう、対象学期の履修登録が始まる前に本学ホームページで公表している。

授業計画書の公表方法	授業計画（シラバス）は、大学ＨＰ⇒在学生の方へ⇒UNIVERSAL PASSPORT RX⇒シラバスリンクで公表しており、誰でも確認することができる。 https://mup.meio-u.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

本学では、『名桜大学　成績評価基準』に基づき、各授業計画（シラバス）に記載された「成績評価の方法」により厳格に成績評価を行い、学則及び履修規程に定める「成績の評価基準」則り適正に単位の授与を行っている。

名桜大学　成績評価基準

評価	GP	成績（素点）	基準	判定
秀 (S)	4	100～90 点	基準を大きく超えて優秀である	合 格
優 (A)	3	89～80 点	基準を超えて優秀である	
良 (B)	2	79～70 点	望ましい基準に達している	
可 (C)	1	69～60 点	単位を認める最低限の基準には達している	
不可(F)	0	59 点以下	基準に達していない	不合格

【評価の方法の例】
課　　題：●点
活動状況：●点
（グループワーク等）
レポート：●点
期末試験：●点
合　　計：100 点

学生の「学修意欲の把握」については、各授業計画（シラバス）にいて、「活動状況」等の項目でしている。

また、卒業論文の評価ついては、「名桜大学卒業研究論文ルーブリック」を策定し、全学共通の評価項目に基づく評価に取り組んでいる。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
【GPA の算出方法の具体的内容】

$$\text{GPA}=\frac{\text{（修得単位数×GP）の合計＝②}}{\text{履修登録科目の単位合計＝①}}$$

GPA算出例：

科目名	単位数	評価	GP	単位数×GP
●●基礎	2	秀（S）	4	8
○○総論	2	良（B）	2	4
△△実技	1	優（A）	3	3
履修登録科目単位数合計①	5	修得単位数×GPの合計②		15

GPA

$$\text{GPA}=\frac{15}{5}=3.0$$

各履修科目の成績評価に基づき、「秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（F）」を４～０までの Grade Point（GP）に置き換え、上記の計算式にて算出する。
また、学業成績通知書へ個人の GPA を記載し、学生及び学生の保護者へ年 2 回公表し、成績評価の指標の一つである GPA への理解の浸透に努めている。
成績の分布状況の把握については、IR サイトで成績分布状況を可視化している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページで公表：HP⇒在学生の方⇒学内者専用サイト⇒教務・履修登録に関すること⇒成績評価基準および GPA の算出方法 https://www.meio-u.ac.jp/student/assets/gpa_2024.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
全学的なディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）
1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力

上記のディプロマ・ポリシーに基づき、各学部で定められている卒業に必要な単位数の修得を踏まえて、各学部教授会で卒業判定を行い、学長が卒業を認定しています。

国際学群（卒業認定・学位授与方針）
国際学群（国際文化専攻／語学教育専攻）は、以下の能力を身につけた学生に学士（国際文化学）の学位を授与します。
1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力
5. 高度な言語運用能力と多文化理解力を兼ね備え、地域社会や国際社会に貢献する力

国際学群（経営専攻／情報システムズ専攻／診療情報管理専攻）は、以下の能力を身につけた学生に学士（経営情報学）の学位を授与します。
1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性に加え、優れた実践力
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力と組織運営力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力と自己検証力

4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現するとともに、調整し統合する力
5. 社会変化や科学技術の革新を数量的に分析し、評価する力

国際学群（観光産業専攻）は、以下の能力を身につけた学生に学士（観光産業学）の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力
5. 社会の変化に対応し、地域社会や国際社会において観光産業の発展に貢献する力

上記の方針に基づき、国際学群で定められている卒業に必要な単位数（124 単位以上）の修得を踏まえて、国際学群教授会で卒業判定を行い、学長が卒業を認定しています。

国際学部国際文化学科（卒業認定・学位授与方針）

国際文化学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（国際文化学）の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み、探究し、学び続ける力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現し、他者と協力する力
5. 高度な言語運用能力と多文化理解力、問題解決能力と創造力を兼ね備え、地域社会や国際社会に貢献する力

上記の方針に基づき、国際学部で定められている卒業に必要な単位数（124 単位以上）の修得を踏まえて、国際学部教授会で卒業判定を行い、学長が卒業を認定しています。

国際学部国際観光産業学科（卒業認定・学位授与方針）

国際観光産業学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（国際観光産業学）の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み、継続して探求する力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的・多面的・総合的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現し、他者と協力する力
5. 社会の変化に対応し、地域社会や国際社会において観光産業の発展、ひいては社会の進歩に貢献する柔軟性と行動する力

上記の方針に基づき、国際学部で定められている卒業に必要な単位数（124 単位以上）の修得を踏まえて、国際学部教授会で卒業判定を行い、学長が卒業を認定しています。

人間健康学部スポーツ健康学科（卒業認定・学位授与方針）

スポーツ健康学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（スポーツ健康学）の学位を授与します。

1. 高い倫理観を持ち、社会人として必要な幅広い教養およびスポーツ健康科学分野における専門的知識・技能
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見・設定し、批判的・論理的に思考・判断しつつ解決す

る力。また、その内容をわかりやすく表現する力
4. 多様な視点を尊重し、協働して問題を解決していくために必要なチームワークやリーダーシップ
5. 心身ともに健康に生きるため、自己の可能性を肯定的に考え、自らを律しながら、主体的・計画的に行動する力

上記の方針に基づき、人間健康学部で定められている卒業に必要な単位数（124 単位以上）の修得を踏まえて、人間健康学部教授会で卒業判定を行い、学長が卒業を認定しています。

人間健康学部看護学科（卒業認定・学位授与方針）

看護学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（看護学）の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性を兼ね備え、生命の尊厳と人権を尊重し擁護する力
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力を身につけ、人々の健康と福祉に寄与する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力
5. 看護を必要とする人を全人的に捉え、科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する力
6. 自律性と参画力を備え、関連する専門職者および地域と協働・連携する力

上記の方針に基づき、人間健康学部で定められている卒業に必要な単位数（129 単位以上）の修得を踏まえて、人間健康学部教授会で卒業判定を行い、学長が卒業を認定しています。

人間健康学部健康情報学科（卒業認定・学位授与方針）

健康情報学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（健康情報学）の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力
5. コンピュータ理論・装置・ソフトウェアの基礎を学んだ上で情報システムの設計・開発ができる力
6. 数学、統計、情報、データサイエンスの基礎知識・技能を獲得した上で、社会の様々な課題をデータサイエンス・AI を駆使して解決できる力
7. 保健・医療・福祉を総合的に理解した上で、医療機関や日常生活で発生する多様なデータを適切に収集・蓄積・分析する力

上記の方針に基づき、人間健康学部で定められている卒業に必要な単位数（124 単位以上）の修得を踏まえて、人間健康学部教授会で卒業判定を行い、学長が卒業を認定しています。

卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページで公表：HP⇒大学紹介⇒教育情報の公表⇒３つのポリシー https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	名桜大学
設置者名	公立大学法人名桜大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/information/
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公表 https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/information/
財産目録	該当しないため公表なし
事業報告書	ホームページで公表 https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/information/
監事による監査報告（書）	ホームページで公表 https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/information/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：令和８年度計画　　対象年度：令和８年度）
公表方法：公表方法：HP→大学紹介→情報公開→法人情報の公開→第３期中期目標・中期計画、年度計画 →https://www.meio-u.ac.jp/about/assets/r8_nendokeikaku.pdf
中長期計画（名称：第３期中期計画　　対象年度：令和４年度～令和９年度　　）
公表方法：公表方法：HP→大学紹介→情報公開→法人情報の公開→第３期中期目標・中期計画、年度計画 →https://www.meio-u.ac.jp/about/assets/dai3_tyuukikeikaku_mokuhyou.pdf

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：公表方法：公表方法：ホームページで公表 HP→大学紹介→情報公開→法人情報の公開→認証評価→点検評価ポートフォリオ2020年５月 →https://www.meio-u.ac.jp/about/assets/2020-portfolio.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページで公表 HP→大学紹介→情報公開→法人情報の公開→認証評価 →https://www.meio-u.ac.jp/about/assets/2020-houkokusyo.pdf

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　国際学群　国際学類
教育研究上の目的（公表方法：（公表方法：ホームページで公表） HP→大学紹介→教育の目的 →https://www.meio-u.ac.jp/about/aim/
（概要） 地域の自然と文化及び歴史的、地理的、社会的背景を基礎に、グローバル化する国際情勢に対応して、学際的、理論的、実践的及び比較的研究を通じ、その応用を展開する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→３つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→国際学群 →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/international/）
（概要） ■国際文化専攻／語学教育専攻 国際学群（国際文化専攻／語学教育専攻）は、以下の能力を身につけた学生に学士（国際文化学）の学位を授与します。 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力 5. 高度な言語運用能力と多文化理解力を兼ね備え、地域社会や国際社会に貢献する力 ■経営専攻／情報システムズ専攻／診療情報管理専攻 国際学群（経営専攻／情報システムズ専攻／診療情報管理専攻）は、以下の能力を身につけた学生に学士（経営情報学）の学位を授与します。 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性に加え、優れた実践力 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力と組織運営力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力と自己検証力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現するとともに、調整し統合する力 5. 社会変化や科学技術の革新を数量的に分析し、評価する力 ■観光産業専攻 国際学群（観光産業専攻）は、以下の能力を身につけた学生に学士（観光産業学）の学位を授与します。 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力 5. 社会の変化に対応し、地域社会や国際社会において観光産業の発展に貢献する力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→３つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→国際学群 →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/international/）

（概要）

■国際文化専攻／語学教育専攻

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT 活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を 4 年間かけて育成できるカリキュラムを編成する
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・論理的な思考力を育成する
4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う
5. 沖縄を含む国内外の諸地域における言語と文化の体系的学習を行い、知識を実践する機会として実習科目を配置する
6. 専門知識や技術を統合し、問題解決力と創造力を育成するため、卒業研究を実施し丁寧な個別指導を行う

■経営専攻／情報システムズ専攻／診療情報管理専攻

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT 活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を 4 年間かけて育成できるカリキュラムを編成する
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・論理的な思考力を育成する
4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う
5. 学生が自主的に計画・行動・検証・改善できる実習・演習を重視したカリキュラムを編成する

■観光産業専攻

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT 活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を 4 年間かけて育成できるカリキュラムを編成する
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・論理的な思考力を育成する
4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う

5. 地域社会や国際社会で観光産業の発展に貢献できる人材を育成するため、観光ビジネスや観光政策、環境・エコツーリズム、観光文化などの専門科目を設置する

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→３つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→国際学群
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/international/）

（概要）

国際学群の教育目標を達成するために、本学群に入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること
2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること
3. 国際学群の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科（英語、数学、国語、理科、社会等）の内容をバランスよく修得していること

＜入学者選抜方針＞

国際学群では、「学力の３要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を踏まえたアドミッション・ポリシーに従って入学生を選抜します。全ての入学志願者に対して「国際学群の特徴を正しく理解していること」を求めますが、入学志願者が自らの強みを発揮できるように、以下による多様な入学者選抜を行います。

総合型選抜	総合型選抜では、志願者が「豊かな個性と強い学習意欲を有し主体的に取り組む姿勢を持っていること」を特に重視します。 書類審査、個別試験※2により、入学志願者の能力・意欲・適性、国際学群の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜では、志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること」を特に重視します。出身高等学校長の推薦に基づき、書類審査、個別試験※2により、入学志願者の能力・意欲・適性、国際学群の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 前期日程 （A方式・B方式）	一般選抜では、志願者が「高等学校教育における教科（英語、数学、国語、理科、社会等）の内容をバランスよく修得していること」を特に重視します。 前期日程では、大学入学共通テスト、書類審査、個別学力検査※1、個別試験※2により、入学志願者の能力・意欲・適性、国際学群の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 後期日程	一般選抜では、志願者が「高等学校教育における教科（英語、数学、国語、理科、社会等）の内容をバランスよく修得していること」を特に重視します。 後期日程では、大学入学共通テスト、書類審査、個別試験※2により、入学志願者の能力・意欲・適性、国際学群の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
特別選抜	特別選抜は、社会人特別選抜、帰国子女特別選抜、外国人留学生特別選抜に区分し、それぞれの経験が強みとなっている入学者を選抜します。 特別選抜では、志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること」を特に重視します。

	個別試験※2により、入学志願者の能力・意欲・適性、国際学群の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 なお、外国人留学生特別選抜への入学志願者には、日本語能力試験 N2 以上、または日本留学試験の「日本語」250 点以上の日本語能力を求めます。
編入学試験	編入学試験では、志願者が「3 年次編入学後の学習・研究活動に必要な課題理解力・分析力・表現力をもっていること」を特に重視します。 個別試験※2により、入学志願者の能力・意欲・適性、国際学群の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 なお、外国人留学生が出願する場合、日本語能力試験 N1、または日本留学試験の「日本語」280 点以上の日本語能力を求めます。

※1 個別学力検査：教科・科目や総合問題による学力検査　※2 個別試験：小論文、面接等

学部等名　国際学部　国際文化学科
教育研究上の目的（公表方法：（公表方法：ホームページで公表） HP→大学紹介→教育の目的 →https://www.meio-u.ac.jp/about/aim/
（概要） 自国及び環太平洋地域を中心とする国・地域の言語・文化・政治等に関する知見を基礎に学際的研究及び理論、実践、比較研究を通じ、地域社会及び国際社会における課題の解決に取り組む。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→国際学部国際文化学科（2023/4～） →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/ics/)
（概要） 国際文化学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（国際文化学）の学位を授与します。 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み、探究し、学び続ける力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現し、他者と協力する力 5. 高度な言語運用能力と多文化理解力、問題解決能力と創造力を兼ね備え、地域社会や国際社会に貢献する力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→国際学部国際文化学科（2023/4～） →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/ics/)
ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。 1. 幅広い教養、高い倫理性を身につけるために、全学共通の教養教育科目の全ての科目群に必修・選択科目を設定し、42 単位以上履修させる。 2. 専門性を支える専門基礎科目として、言語・歴史・思想など人間の文化的営為について理解する科目に加えて、経済をはじめとする社会の諸事象について理解する科目、情報や環境など人間の活動を取り巻く課題について理解する科目を配置し、2 年次修了時に中間評価を行う。

3. 専門性を深めるために専門発展・応用科目を置く。専門発展・応用科目は次の 7 つの科目区分から構成する
①沖縄や日本の歴史・文化・社会・宗教などを通して自らが生活する地域への理解を深める地域文化系科目を配置する。
②アジアや中南米の歴史・文化・社会・言語などを通して多文化理解に資する国際文化系科目を配置する。
③国際社会の現象やシステムを政治経済・外交安全保障・国際協力・国際機構・国際法などの視点から学び理解を深める国際学系科目を配置する。
④英語圏の文学・歴史・文化、英語学、言語学の知識を学び、実践的な英語運用能力を養う英語・英語文学系科目を配置する。
⑤日本語の歴史や特質についての深い理解力、言語文化についての幅広い知識と読解力を養う日本語・日本文学系科目を配置する。
⑥専門教育で学んだ知識・スキルを活用し、課題発見力、課題解決力を身につけるために実践科目を置く。
⑦時代や社会の要請に応じたテーマを扱う特別講義を開講する。
4. 専門知識や技術を統合した学びを深める演習科目を配置する。さらに学びの集大成として卒業研究に取り組み、卒業研究評価ルーブリックをもとに学習成果を評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→国際学部国際文化学科（2023/4～）
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/ics/)

（概要）
国際文化学科の教育目標を達成するために、入学を希望する人には以下のことを求めます。
1. 強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること。
2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること。
3. 国際文化学科の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科の内容をバランスよく修得していること。

＜入学者選抜方針＞
国際学部（国際文化学科、国際観光産業学科）では、「学力の 3 要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を踏まえたアドミッション・ポリシーに従って入学生を選抜します。全ての入学志願者に対して「志願する学科の特徴を正しく理解していること」を求めますが、入学志願者が自らの強みを発揮できるように、以下による多様な入学者選抜を行います。

総合型選抜	総合型選抜では、志願者が「豊かな個性と強い学習意欲を有し主体的に取り組む姿勢を持っていること」を特に重視します。 書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜では、志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること」を特に重視します。 出身高等学校長の推薦に基づき、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜	一般選抜では、志願者が「高等学校教育における教科（英語、数

前期日程 （A 方式・B 方式）	学、国語、理科、社会等）の内容をバランスよく修得していること」を特に重視します。 前期日程では、大学入学共通テスト、書類審査、個別学力検査※2、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 後期日程	一般選抜では、志願者が「高等学校教育における教科（英語、数学、国語、理科、社会等）の内容をバランスよく修得していること」を特に重視します。 後期日程では、大学入学共通テスト、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
特別選抜	特別選抜は、社会人特別選抜、帰国生徒特別選抜、外国人留学生特別選抜に区分し、それぞれの経験が強みとなっている入学者を選抜します。 特別選抜では、志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること」を特に重視します。 個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 なお、外国人留学生特別選抜への入学志願者には、日本語能力試験 N2 以上、または日本留学試験の「日本語」250 点以上の日本語能力を求めます。
編入学試験	編入学試験では、志願者が「編入学後の学習・研究活動に必要な課題理解力・分析力・表現力をもっていること」を特に重視します。 個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 なお、外国人留学生が出願する場合、日本語能力試験 N1、または日本留学試験の「日本語」280 点以上の日本語能力を求めます。

※1 個別試験：小論文、面接等 ※2 個別学力検査：教科・科目や総合問題による学力検査

学部等名　国際学部　国際観光産業学科
教育研究上の目的（公表方法：（公表方法：ホームページで公表） HP→大学紹介→教育の目的 →https://www.meio-u.ac.jp/about/aim/
（概要） 観光産業および地域振興における社会的ニーズの変化とともに多様化する問題・課題に対応して、学際的研究及び理論、実践、比較研究を通じ、観光現象を探求・究明する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→国際学部国際観光産業学科(2023/4～) →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/itm/)
（概要） 国際観光産業学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（国際観光産業学）の学位を授与します。 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み、継続して探求する力

3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的・多面的・総合的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現し、他者と協力する力
5. 社会の変化に対応し、地域社会や国際社会において観光産業の発展、ひいては社会の進歩に貢献する柔軟性と行動する力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→国際学部国際観光産業学科(2023/4～)
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/itm/)

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合し、グローバル化に対応できるコミュニケーション力、数理的分析力、ICT 活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を身に付けるために、全学共通の教養教育科目を配置し、42 単位以上履修させる。幅広い教養、高い倫理性を身に付けるために、42 単位以上履修させる。
2. 専門基礎科目として、文学や言語をはじめ、歴史や文化などを理解するための科目に加えて、社会の仕組みや、人間社会においての役割や機能を理解する科目、情報、環境保全、沖縄の天然記念物を理解する科目を置き、2 年次修了時に中間評価を行う。
3. 専門性を深めるために専門発展・応用科目を置く。専門発展・応用科目は次の 7 つの科目区分から構成する。
   ①観光地の形成・運営について総合的に考察し、地域社会と観光振興のバランスを踏まえた公共の福祉の充実を目指し、行政・経済・法律などの社会科学分野を中心にマクロ的に学ぶ観光地形成科目を配置する。
   ②多様化する現代社会の諸課題に対してマネジメントできる人材を育成するため、広く企業や組織の運営に関するヒト・モノ・カネ・情報の観点から学ぶ観光経営科目を配置する。
   ③地域における自然環境や歴史文化の有用性を考察し、地域社会の自然・文化を活用した持続可能な観光振興のあり方を学ぶ観光文化・環境科目を配置する。
   ④国際観光にかかる制度や動向、外国語、海外の歴史を学ぶ国際観光科目を配置する。
   ⑤専門教育で学んだ知識・スキルを社会の実践の場で応用し、課題発見・解決力を身に付けるため、実践科目を置く。具体的には、3 年次を対象とした「インターンシップⅠ・Ⅱ」や「海外インターンシップ」、「ホテル実務」、「観光関連実務」を配置する。
   ⑥心身の再活性化を図るスポーツ・ウェルネス（観光）に関する科目を配置する。
   ⑦時代の要請に応じたテーマについて、多彩な授業形態による特別講義を開講する。
4. 専門知識や技術を統合した学びを深める演習科目を配置する。さらに学びの集大成として卒業研究に取り組み、卒業研究評価ルーブリックをもとに学習成果を評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→国際学部国際観光産業学科(2023/4～)
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/itm/)

（概要）

国際観光産業学科の教育目標を達成するために、入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 強い学習意欲を有し、主体的かつ継続的に、他者と協力して取り組む姿勢を持っていること
2. 社会の問題や課題について、基本的な学習スキルの活用及び多角的な情報収集に基づき、自らの考えを多様な方法で表現できること
3. 国際観光産業学科の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科の内容をバランスよく修得していること

＜入学者選抜方針＞

国際学部（国際文化学科、国際観光産業学科）では、「学力の 3 要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を踏まえたアドミッション・ポリシーに従って入学生を選抜します。全ての入学志願者に対して「志願する学科の特徴を正しく理解していること」を求めますが、入学志願者が自らの強みを発揮できるように、以下による多様な入学者選抜を行います。

総合型選抜	総合型選抜では、志願者が「豊かな個性と強い学習意欲を有し主体的に取り組む姿勢を持っていること」を特に重視します。 書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜では、志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること」を特に重視します。 出身高等学校長の推薦に基づき、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 前期日程 （A 方式・B 方式）	一般選抜では、志願者が「高等学校教育における教科（英語、数学、国語、理科、社会等）の内容をバランスよく修得していること」を特に重視します。 前期日程では、大学入学共通テスト、書類審査、個別学力検査※2、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 後期日程	一般選抜では、志願者が「高等学校教育における教科（英語、数学、国語、理科、社会等）の内容をバランスよく修得していること」を特に重視します。 後期日程では、大学入学共通テスト、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
特別選抜	特別選抜は、社会人特別選抜、帰国生徒特別選抜、外国人留学生特別選抜に区分し、それぞれの経験が強みとなっている入学者を選抜します。 特別選抜では、志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること」を特に重視します。 個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。

	なお、外国人留学生特別選抜への入学志願者には、日本語能力試験 N2 以上、または日本留学試験の「日本語」250 点以上の日本語能力を求めます。
編入学試験	編入学試験では、志願者が「編入学後の学習・研究活動に必要な課題理解力・分析力・表現力をもっていること」を特に重視します。 個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、志願する学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 なお、外国人留学生が出願する場合、日本語能力試験 N1、または日本留学試験の「日本語」280 点以上の日本語能力を求めます。

※1 個別試験：小論文、面接等　※2 個別学力検査：教科・科目や総合問題による学力検査

学部等名　人間健康学部　スポーツ健康学科
教育研究上の目的（公表方法：（公表方法：ホームページで公表） HP→大学紹介→教育の目的 →https://www.meio-u.ac.jp/about/aim/
（概要） 人間理解、健康理解を基礎として、食生活・栄養、運動・スポーツ、心理、社会福祉、保健・医療の幅広い視点に立った多面的角度から「スポーツと健康」を探求・究明する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→人間健康学部スポーツ健康学科 →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/sport/)
（概要） スポーツ健康学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（スポーツ健康学）の学位を授与します。 1. 高い倫理観を持ち、社会人として必要な幅広い教養およびスポーツ健康科学分野における専門的知識・技能 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力 3. 自由な発想で課題を発見・設定し、批判的・論理的に思考・判断しつつ解決する力。また、その内容をわかりやすく表現する力 4. 多様な視点を尊重し、協働して問題を解決していくために必要なチームワークやリーダーシップ 5. 心身ともに健康に生きるため、自己の可能性を肯定的に考え、自らを律しながら、主体的・計画的に行動する力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→人間健康学部スポーツ健康学科 →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/sport/)
ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。 1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT 活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を 4 年間かけて育成できるカリキュラムを編成する 2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しなが

ら国際基準に沿った教育を行う
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、他者との対話や議論を通して批判的・論理的な思考力を育成する
4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、3年次および4年次における卒業研究演習を必修科目と位置づけ、卒業論文等により最終評価を行う
5. スポーツおよび健康に関する専門基礎科目群を配置する。専門性を高めるため、2年次から「スポーツ領域」または「健康領域」を選択し、より探究的な専門科目群を配置する

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→人間健康学部スポーツ健康学科
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/sport/）

（概要）
スポーツ健康学科の教育目標を達成するために、本学科に入学を希望する人には以下のことを求めます。
1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること
2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること
3. スポーツ健康学科の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科を全般的に修得していること。また、スポーツ健康科学に必要な保健および体育の内容について基礎的・基本的な知識および技能を身につけていることが望ましい
4. 健康を科学的視点から探究し、地域社会や国際社会において健康づくりを支援する意欲があること
5. スポーツ科学や健康科学に興味・関心があり、大学においても習慣的な運動や健康づくりの意欲があること

＜入学者選抜方針＞
人間健康学部スポーツ健康学科では、入学志願者に「名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科の特徴を正しく理解していること」を求めます。人間健康学部スポーツ健康学科のアドミッション・ポリシーに基づき、入学志願者の能力・意欲・適性等を学力の三要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の視点から評価・判定できるように個別試験等の科目を設定します。
入学志願者個々の能力・意欲・適性等の強みを生かせるように、以下による多様な入学者選抜を行います。

総合型選抜	総合型選抜の選抜基準は、高等学校等々での日常的な学習や活動において顕著な実績があり、これを活かしてスポーツ健康科学の分野における優れた知識・技能を有した健康支援人材として活躍できる十分な資質を持つ者を選抜します。特に、創造性、リーダーシップ、国際性、地域性、スポーツ実績などの点を重視します。 書類審査、個別試験※1により、入学志願者の能力・意欲・適性、スポーツ健康学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜の選抜基準は、特別活動や人間力に優れた者で、将来スポーツ健康科学の分野における優れた知識・技能を有した健康支援人材として活躍できる十分な資質を持つ者を選抜しま

	す。 　出身高等学校長の推薦に基づき、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、スポーツ健康学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 前期日程	一般選抜の選抜基準は、高い学力と人間力を兼ね備え、将来スポーツ健康科学の分野における優れた知識・技能を有した健康支援人材として活躍できる十分な資質を持つ者を選抜します。 　前期日程では、大学入学共通テスト、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、スポーツ健康学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 後期日程	一般選抜の選抜基準は、高い学力と人間力を兼ね備え、将来スポーツ健康科学の分野における優れた知識・技能を有した健康支援人材として活躍できる十分な資質を持つ者を選抜します。 　後期日程では、大学入学共通テスト、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、スポーツ健康学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
特別選抜	（社会人特別選抜） 　社会人特別選抜の選抜基準は、社会人としての経験があり、スポーツ・健康領域に興味・関心を持ち、知識だけでなく、複眼的視点に立って物事を考える能力や技術の獲得を目指したい者。また、その実現のために主体的に行動できる者。スポーツ・健康科学の専門的知識と思考・技術を持ち、保健体育・養護教諭や健康関連企業への就職を求める人材を選抜します。 　書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、スポーツ健康学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 （帰国生徒特別選抜） 　帰国生徒特別選抜の選抜基準は、スポーツ・健康領域に興味・関心を持ち、知識だけでなく、複眼的視点に立って物事を考える能力や技術の獲得を目指したい者。また、その実現のために主体的に行動できる者。スポーツ・健康科学の専門的知識と思考・技術を持ち、健康関連企業への就職を求める者。それらに加え、帰国生徒としての海外経験が強みとなっている人材を選抜します。 　書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、スポーツ健康学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 （外国人留学生特別選抜） 　外国人留学生特別選抜の選抜基準は、スポーツ・健康領域に興味・関心を持ち、知識だけでなく、複眼的視点に立って物事を考える能力や技術の獲得を目指したい者。また、その実現のために主体的に行動できる者。スポーツ・健康科学の専門的知識と思考・技術を持ち、健康関連企業への就職を求める者。それらに加え、グローバルな人材として、国内外において活躍できる人材を選抜します。 　書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、スポーツ健康学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 　なお、外国人留学生特別選抜への入学志願者には、日本語能力試験 N2 以上、または日本留学試験の「日本語」250 点以上の日本語能力を求めます。

編入学試験	編入学試験の選抜基準は、スポーツ・健康領域に興味・関心を持ち、知識だけでなく、複眼的視点に立って物事を考える能力や技術の獲得を目指したい者。また、その実現のために主体的に行動できる者。スポーツ・健康科学の専門的知識と思考・技術を持ち、保健体育・養護教諭や健康関連企業への就職を求める人材を選抜します。 書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、スポーツ健康学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。

※1 個別試験：小論文、面接等

学部等名　人間健康学部　看護学科

教育研究上の目的（公表方法：（公表方法：ホームページで公表）
HP→大学紹介→教育の目的
→https://www.meio-u.ac.jp/about/aim/

（概要）
地域に根ざしたケアリング文化を発掘・継承・発展させ、人類の健康増進に務め且つ看護学のグローバルな発展に寄与することを目的に教育研究活動を推進する。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→人間健康学部看護学科
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/nurse/）

（概要）
看護学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（看護学）の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性を兼ね備え、生命の尊厳と人権を尊重し擁護する力
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力を身につけ、人々の健康と福祉に寄与する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力
5. 看護を必要とする人を全人的に捉え、科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する力
6. 自律性と参画力を備え、関連する専門職者および地域と協働・連携する力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→人間健康学部看護学科
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/nurse/）

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT 活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を 4 年間かけて育成できるカリキュラムを編成する
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、

自立した主体的な学びを促すとともに、他者との対話や議論を通して批判的・論理的な思考力を育成する
4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う
5. 看護学の専門基礎教育科目および専門性を探求する専門教育科目を適切に配置する
6. 4 年間を通して学生主体・参画型の少人数教育を実施し、「自己との対話」「他者との対話」「地域社会との対話」を通して自己教育力を育む
7. 専門的な知識・技術を統合し、看護の専門性を発展させる能力や態度を育む

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→人間健康学部看護学科
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/nurse/）

（概要）
看護学科の教育目標を達成するために、本学科に入学を希望する人には以下のことを求めます。
1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること
2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを様々な方法で創造的に表現できること
3. 看護学科の特徴を正しく理解し、文系・理系に偏ることなく高等学校教育における基礎的な学力を身につけていること。なお、生命科学の基礎となる生物、化学については、基礎的な知識を身につけておくことが望ましい

＜入学者選抜方針＞
人間健康学部看護学科では、「学力の 3 要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を踏まえたアドミッション・ポリシーに従って入学生を選抜します。全ての入学志願者に対して「看護学科の特徴を正しく理解していること」を求めますが、入学生が自らの強みを発揮できるように、以下による多様な入学者選抜を行います。

学校推薦型選抜	学校推薦型選抜では、志願者が「豊かな個性と強い学習意欲を有し主体的に取り組む姿勢を持っていること」および「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを様々な方法で 創造的に表現できること」を特に重視します。 出身高等学校長の推薦に基づき、書類審査、個別学力検査※2、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、看護学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 前期日程	一般選抜は、志願者が「文系・理系に偏ることなく高等学校教育における基礎的な学力を身につけていること。なお、生命科学の基礎となる生物、化学については、基礎的な知識を身につけておくこと」を特に重視します。 大学入学共通テスト、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、看護学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
特別選抜	（社会人特別選抜） 「豊かな個性と強い学習意欲を有し主体的に取り組む姿勢を持っていること」および「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話

	や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを様々な方法で創造的に表現できること」を重視し、さらに、社会人経験を基盤として多角的に物事を捉える力を求めます。 　書類審査、個別学力検査※2、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、看護学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
編入学試験	「豊かな個性と強い学習意欲を有し主体的に取り組む姿勢を持っていること」および「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを様々な方法で創造的に表現できること」を重視します。さらに看護基礎教育機関で学んだことを基盤として、多角的に看護を考える力を求めます。 　書類審査、個別学力検査※2、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、看護学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。

※1 個別試験：小論文、面接等　※2 個別学力検査：教科・科目や総合問題による学力検査

学部等名　人間健康学部　健康情報学科
教育研究上の目的（公表方法：（公表方法：ホームページで公表） HP→大学紹介→教育の目的 →https://www.meio-u.ac.jp/about/aim/
（概要） 　数理・データサイエンス・AI の手法を駆使し、保健・ 医療・福祉などを含む健康分野と社会全般に関するデータを分析することで、多面的な視点から「健康と情報」を探求・究明する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→人間健康学部健康情報学科(2023/4～) →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/healthInfo/)
健康情報学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（健康情報学）の学位を授与します。 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力 5. コンピュータ理論・装置・ソフトウェアの基礎を学んだ上で情報システムの設計・開発ができる力 6. 数学、統計、情報、データサイエンスの基礎知識・技能を獲得した上で、社会の様々な課題をデータサイエンス・AI を駆使して解決できる力 7. 保健・医療・福祉を総合的に理解した上で、医療機関や日常生活で発生する多様なデータを適切に収集・蓄積・分析する力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→人間健康学部健康情報学科(2023/4～) →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/healthI

nfo/)

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 幅広い教養、高い倫理性を身に付けるために、全学共通の教養教育科目の全ての科目群に必修選択科目を設定し、32 単位以上履修させる。
2. 専門基礎科目として、保健・医療・福祉を総合的に理解するための科目に加えて、数学、統計、情報、データサイエンスの基礎知識・技能を獲得するための科目を置き、2 年次修了時に中間評価を行う。
3. 専門性を深めるために専門発展科目を置く。専門発展科目は次の 3 つの科目区分から構成し、①コンピュータ理論・装置・ソフトウェアの基礎を学んだ上で情報システムの設計・開発のためのスキルを身に付ける情報科学科目、②社会の様々な課題をデータサイエンス・AI を駆使して解決できるよう統計的な解釈とコンピューター科学による検証方法を中心に学ぶデータサイエンス科目、③医療機関や日常生活で発生する多様なデータを適切に収集・蓄積・分析するためのヘルスデータ科目を配置する。
4. 健康分野におけるデータ活用だけでなく、人間の社会行動、マーケティング、経営分野におけるデータ活用を学ぶ専門応用科目を設定する。
5. 専門教育で学んだ知識・スキルを社会の実践の場で活用し、課題発見・課題解決する力を身に付けるため、専門総合科目を置く。具体的には、3 年次を対象とした「病院実務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」や「健康情報演習Ⅰ（PBL）・Ⅱ（PBL）」を選択必修とするとともに、4 年次の一年間を通して卒業研究を完成させる演習科目を必修とし、最終評価（卒業研究評価等）を行う。
6. 幅広い教養、深い専門性、国内外大学への交換留学、情報教員を目指す学生の履修の選択肢を広げるために、自由選択科目を設定する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→3 つのポリシー→国際学部・国際学群・人間健康学部→人間健康学部健康情報学科(2023/4～)
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/healthInfo/)

（概要）

健康情報学科の教育目標を達成するために、本学科に入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること。
2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること。
3. 健康情報学科の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科の内容をバランスよく修得していること。

＜入学者選抜方針＞

人間健康学部健康情報学科では、「学力の 3 要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を踏まえたアドミッション・ポリシーに従って入学生を選抜します。全ての入学志願者に対して「健康情報学科の特徴を正しく理解していること」を求めますが、入学志願者が自らの強みを発揮できるように、以下による多様な入学者選抜を行います。

総合型選抜	総合型選抜では、志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを論理的に表現できること」を特に重視します。 書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、

	健康情報学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
学校推薦型選抜	[一般推薦(共通テスト有)] 志願者の「高等学校教育における学習の成果」また志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、自らの考えを論理的に表現できること」を特に重視します。 出身高等学校長の推薦に基づき、書類審査、個別試験※1、大学入学共通テストにより、入学志願者の能力・意欲・適性、健康情報学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 [専門高校及び総合学科推薦、地域枠推薦 A] 志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを論理的に表現できること」を特に重視します。 出身高等学校長の推薦に基づき、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、健康情報学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 [地域枠推薦 C] 志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、自らの考えを論理的に表現できること」を特に重視します。 出身高等学校長の推薦に基づき、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、健康情報学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 前期日程	[A 方式] 一般選抜・前期日程 A 方式では、志願者の「高等学校教育における学習の成果」、また志願者が「基本的な学習スキルを活用し、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを論理的に表現できること」を特に重視します。 大学入学共通テスト、書類審査、個別試験※1 により、入学志願者の能力・意欲・適性、健康情報学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 [B 方式] 一般選抜・前期日程 B 方式では、志願者の「高等学校教育における学習の成果」を特に重視します。 大学入学共通テスト、書類審査により、入学志願者の能力・意欲・適性、健康情報学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
一般選抜 後期日程	一般選抜・後期日程では、志願者の「高等学校教育における学習の成果」を特に重視します。 大学入学共通テスト、書類審査により、入学志願者の能力・意欲・適性、健康情報学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。
特別選抜	特別選抜では、社会人特別選抜、帰国生徒特別選抜、外国人留学生特別選抜に区分し、それぞれの経験が強みとなっている入学者を選抜します。 志願者が「基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを論

	理的に表現できること」を特に重視します。 　個別試験※1により、入学志願者の能力・意欲・適性、健康情報学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 　なお、外国人留学生特別選抜への入学志願者には、日本語能力試験 N2 以上、または日本留学試験の「日本語」250 点以上の日本語能力を求めます。
編入学試験	編入学試験では、志願者が「編入学後の学習・研究活動に必要な課題理解力・分析力・論理的な表現力をもっていること」を特に重視します。 　個別試験※1により、入学志願者の能力・意欲・適性、健康情報学科の理解度等を多面的・総合的に評価・判定します。 　なお、外国人留学生が出願する場合、日本語能力試験 N1、または日本留学試験の「日本語」280 点以上の日本語能力を求めます。

※1 個別試験：小論文、面接等

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページで公表：HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→教育研究上の基本組織
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/org/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	人	－					人
国際学部	－	18 人	19 人	0 人	1 人	0 人	38 人
人間健康学部	－	23 人	27 人	0 人	12 人	0 人	62 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
3 人	11 人	14 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：公表方法：ホームページで公表　HP→研究→研究者総覧・シーズ集→ https://www.meio-u.ac.jp/research/scholars/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

教員の教育研究活動を推進するために必要な能力開発に取り組んでいる。
令和８年度は、ハラスメント防止等に関する研修内容に加え、外部講師による講話等、教員の資質向上を目的として FD 研修会を定期的に（年３回程度）開催する予定である。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
国際学群（R5 募集停止）	―人	―人	%	―人	71 人	―%	―人	―人
国際学部	340 人	371 人	109%	1380 人	1,391 人	101%	10 人	4 人
人間健康学部	255 人	266 人	104%	1050 人	1,057 人	101%	15 人	6 人
合計	595 人	637 人	107%	2430 人	2,519 人	104%	25 人	10 人

（備考）

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
国際学群	269 人 (100%)	7 人 (3%)	200 人 (74%)	62 人 (23%)
人間健康学部	200 人 (100%)	12 人 (6%)	166 人 (83%)	22 人 (11%)
合計	469 人 (100%)	19 人 (4%)	366 人 (78%)	84 人 (18%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
国際学群及び人間健康学部スポーツ健康学科では主な就職先に「公務」約 10%、「教育、学習支援業」約 9%、「卸売業、小売業」約 9%の状況となっている。人間健康学部看護学科では「医療・福祉」への就職が大部分を占めている。

（備考）卒業者数については９月卒業者も含んでおります。

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
国際学群	296 人 （100%）	216 人 （73%）	50 人 （17%）	29 人 （10%）	1 人 （0%）
人間健康学部	192 人 （100%）	174 人 （91%）	11 人 （6%）	6 人 （3%）	1 人 （0%）
合計	488 人 （100%）	390 人 （　80%）	61 人 （13%）	35 人 （7%）	2 人 （0%）

（備考）修業年限期間内卒業者は 2022 年度入学生を対象としており、編入生は含んでいない。その他は転学部及び転学科学生

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

本学では、「シラバス作成のためのガイドライン」に沿って、学期ごとに全科目の授業計画（シラバス）を作成し、公表している。

授業計画（シラバス）には、「科目名（日本語）、科目名（英語）、単位数、開講予定学期、登録予定人数、担当教員名及びメールアドレス、教員研究室、オフィスアワー、授業の概要、到達目標、ディプロマポリシーとの関連性、授業の計画と内容、テキスト・参考文献、準備学習、名桜大学成績評価基準に沿った成績評価の方法、履修の条件」を記載している。

また、授業計画（シラバス）は、学生の履修登録に支障のないよう、対象学期の履修登録が始まる前に本学ホームページで公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

修業年限在籍（4 年）し、定められた単位数を修得した者は、学長が卒業を認定する。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
国際学部	国際文化学科	124 単位	有	1 学期 20 単位 40 単位
	国際観光産業学科	124 単位	有	1 学期 20 単位 40 単位
人間健康学部	スポーツ健康学科	124 単位	有	1 学期 20 単位 40 単位
	看護学科	126 単位	有	1 学期 20 単位 40 単位
	健康情報学科	124 単位	有	1 学期 20 単位 40 単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：GPA は、奨学金支給、保健師コース受講、教育実習受講等の選考に活用されている。公表方法として、履修ガイド、教職のてびきへ記載し周知を図っている。		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：学生の学修状況や課外活動を含め、学生の動向は、大学の広報誌等で公表している。HP⇒大学紹介⇒広報紙「Meio」 →　https://www.meio-u.ac.jp/about/public/meio/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：ホームページで公表：HP→大学紹介→情報公開→教育情報の公表→教育研究環境
→https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/environment/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金		備考（任意記載事項）
国際学部	国際文化学科	535,800 円	（地域内）	125,000 円	
			（地域外）	250,000 円	
	国際観光産業学科	535,800 円	（地域内）	125,000 円	
			（地域外）	250,000 円	
人間健康学部	ｽﾎﾟｰﾂ健康学科	535,800 円	（地域内）	125,000 円	
			（地域外）	250,000 円	
	看護学科	535,800 円	（地域内）	125,000 円	
			（地域外）	250,000 円	
	健康情報学科	535,800 円	（地域内）	125,000 円	
			（地域外）	250,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

＜リベラルアーツ機構＞

本学では、豊かな感性と知性を持った円満な人格形成を目指す「名桜大学型リベラルアーツ教育」を推進し、多様化する学生のニーズに対応するリベラルアーツ教育プログラムの開発・運用および学習支援を図ることを目的としており、その目的を達成するため、学習支援を行う言語学習センター、数理学習センター、ライティングセンターを設置し運用している。

→ https://www.meio-u.ac.jp/liberalarts/

＜成績不振学生への対応＞

国際学群及び国際学部では、年度中間の前期成績確定時に成績不振学生の指導教員に対し、面談を通して、状況確認、履修や大学生活へのアドバイス等の対応を行うよう依頼している。併せて、当該学生に対する後学期の指導・アドバイスについても依頼している。

スポーツ健康学科では、前学期終了後、今後、卒業および進級が危うくなることが想定される学生の保護者に対して通知文を送付している。また、希望者に対して教育懇談会における面談、電話やメール等での相談を受け付けている。

看護学科では、学年担当教員による複数回の面談において、学習スタイルの相談や時間管理の方法、今後の履修計画相談等を行っており、必要時には保護者の方とも面談をしている。個別面談により支援が必要な学生については、看護学科学生サポート委員会および教務委員会が連携し、学科内で共有して、全教員体制での支援を行っている。

健康情報学科では、年度中間の前期成績確定時に成績不振学生の指導教員に対し、面談を通して、状況確認、履修や大学生活へのアドバイス等の対応を行うよう依頼している。併せて、当該学生に対する後学期の指導・アドバイスについても依頼している。

→ https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/support/study/result/

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要） キャリア支援課において、就職ガイダンス、学内企業説明会、検定試験、公務員試験対策講座に取り組んでいる。また、沖縄県の「就活パワフルサポート事業」を活用し、専任コーディネーターを配置し、学生が進路選択に関する相談をしやすい環境を整えている。 →https://www.meio-u.ac.jp/career/
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 心身の健康相談窓口として、保健センター（保健室・相談室）、学生課、総務課を置いている。保健センターには、看護師２名、心理カウンセラー5名、精神科医１名（月１回）を配置し、学生が相談しやすい環境を整えている。また、校医による定期的な健康指導も実施している。 →　https://www.meio-u.ac.jp/campus/care/ 更に、障がいのある学生に関する支援等も行っている。 →　https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/support/challenged/

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学 HP での公表。https://www.meio-u.ac.jp/

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	
学校名（○○大学 等）	名桜大学
設置者名（学校法人○○学園 等）	

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		913人（ 615 ）人	878人（ 581 ）人	945人（ 638 ）人
内訳	第Ⅰ区分	233人	216人	
	（うち多子世帯）	（ 80 人）	（ 53 人）	
	第Ⅱ区分	125人	116人	
	（うち多子世帯）	（ 28 人）	（ 25 人）	
	第Ⅲ区分	84人	69人	
	（うち多子世帯）	（ 36 人）	（ 25 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	146人	149人	
	区分外（多子世帯）	325人	329人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－人（ 0 ）人
合計（年間）				945人（ 638 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	10人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	10人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	4人	0人	0人
計	24人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	3人
３月以上の停学	0人
年間計	3人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	1人	0人	0人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	134人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	134人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。